

2021. 10. 11 <計2枚>

京都大学記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

立命館大学映像学部生プロデュース
映画上映企画「マッツ・ミケルセン特集～北欧の至宝～」開催
日程：2021年10月22日（金）～28日（木）
会場：京都みなみ会館 Theater2

映像学部と京都みなみ会館は、10月22日（金）～28日（木）の日程で、デンマーク出身の俳優マッツ・ミケルセン主演作品の上映企画「マッツ・ミケルセン特集～北欧の至宝～」を開催いたします。

マッツ・ミケルセンは、「ハンニバル」のレクター博士役で世界的人気を獲得した、デンマークを代表する国際的映画俳優で、今や世界を股にかけた活躍を見せています。現在、日本公開中のデンマーク、オランダ、スウェーデン合作映画『アナザーラウンド』（2020年）は、主演のマッツ・ミケルセンの演技力と身体性が存分に発揮された、酔いどれ中年教師の物語で、第93回アカデミー賞国際長編映画賞を受賞しました。さらには、いずれも日本での公開が待たれる、『ライダーズ・オブ・ジャスティス』（2020年）や『カオス・ウォーキング』（2021年）にも出演し、『インディーズ・ジョーンズ』シリーズ最新作への出演も決定しています。

本企画では、『アナザーラウンド』の日本公開にあわせ、マッツ・ミケルセン主演作品を特集上映し、近年のヨーロッパ映画の傑作4本を通じて、“北欧の至宝”とも呼ばれる、この不世出のスターの魅力に迫ります。

なお、本企画は、同学部に在籍する2回生以上が受講する「映画上映実習」の授業の一環で、学生たちが映画を中心とした作品の上映企画を立案し、京都みなみ会館の協力のもと、実践するものです。学生たちが主体となって上映作品の選定、ちらしの作成、広報活動、当日の会場運営（補助）など、全てを行っています。2008年より、本学と京都みなみ会館の共同主催により企画を実施しています。

記

日 時：2021年10月22日（金）～28日（木）17:30～

会 場：京都みなみ会館 Theater2（定員54人）

（〒601-8424 京都市南区西九条川原城町110 TEL. 075-661-3993）

スケジュール：別紙

入 場 料：各回当日一般1,500円／シニア1,200円／学生・会員1,000円

主 催：立命館大学映像学部、京都みなみ会館

企 画：学生企画グループ「Zerots」（小幡宙生、時田桃々子、LEE Soin、飯塚日向子、
棚原こころ、田湯亜蓮）

以上

●上映についてのお問い合わせ先 京都みなみ会館 TEL. 075-661-3993

※記事掲載いただく際は、京都みなみ会館のみ（電話番号含む）ご記載願います。

●取材についてのお問い合わせ先 立命館大学映像学部事務室 TEL.075-465-1990

別紙

【スケジュール】

10/22(金)	17:30- 偽りなき者(115分)	19:45- 悪党に肅清を(93分)
10/23(土)	17:30- 悪党に肅清を(93分)	19:30- ヴァルハラ・ライジング(93分)
10/24(日)	17:30- 偽りなき者(115分)	19:45- 残された者 北の極地(97分)
10/25(月)	17:30- ヴァルハラ・ライジング(93分)	19:30- 悪党に肅清を(93分)
10/26(火)	17:30- 残された者 北の極地(97分)	19:30- 偽りなき者(115分)
10/27(水)	17:30- ヴァルハラ・ライジング(93分)	19:30- 残された者 北の極地(97分)
10/28(木)	17:30- 悪党に肅清を(93分)	19:30- 偽りなき者(115分)

【上映作品紹介】

【1】『偽りなき者』(2013年/115分)

監督:トマス・ヴィンターベア

出演:マッツ・ミケルセン、トマス・ボー・ラーセン、スーセ・ウォルド

幼稚園教師であるルーカス(マッツ)が子どものついた悪意なき嘘に翻弄されるという近年の児童への性的ハラスメントの危うい一面をセンセーショナルに描いた作品。アカデミー賞外国語映画賞を受賞した『アナザーラウンド』(2020年)と同じ監督、主演による傑作。

【2】『残された者 北の極地』(2019年/97分)

監督:ジョー・ペナ

出演:マッツ・ミケルセン、マリア・テルナ・サルマドッティ

飛行機の墜落事故で、たった一人北極に取り残された男の力強さと悲哀を描いた静謐なサバイバル劇。この映画には、ほとんどセリフが存在せず、マッツの無言の演技が光る作品である。日本公開時、上映機会が限られていたため、劇場での上映を望むファンも多い。

【3】『ヴァルハラ・ライジング』(2009年/93分)

監督:ニコラス・ウィンディング・レフン

出演:マッツ・ミケルセン、マールテン・スティーブソン、ゲイリー・ルイス

『ドライヴ』(2011年)の鬼才レフン監督が描く“北欧神話のバイオレンス”映画。ヴァイキングの時代を舞台に、聖地エルサレムへと向かう隻眼の戦士の過酷な旅を描く。マッツと多くの作品でタッグを組んできたレフン監督の代表作でもある。

【4】『悪党に肅清を』(2015年/93分)

監督:クリスチャン・レヴリング

出演:マッツ・ミケルセン、エバ・グリーン、ジェフリー・ディーン・モーガン

デンマークで撮影された、ディテールと美学に彩られたアメリカ西部劇。マッツは妻子の敵討ちに燃えるガンマンを演じる。上品な紳士のイメージも強いマッツだが、ここでは打って変わってワイルドな荒くれ者として登場。他に見られないマッツの一面に心を揺さぶられる。